

事案名	浜名湖周辺（三ヶ日）の事案（静岡県22-1-2）
フォローアップ調査資料	<ul style="list-style-type: none"> ・証言（埋設作業に係った住民）〔7〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査結果について（報告）」平成15年9月26日〔18〕
追加資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会（第8回）」資料8〔A1〕
平成15年度フォローアップ調査報告書の要約	<p>昭和21年あるいは22年の3月～4月頃に、三ヶ日町大崎半島に漂着した毒ガス入りと思われるドラム缶を消防団約10人で運び、山林に埋設した。</p> <p>発見・被災・掃海処理等情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元消防団長及びドラム缶を埋設した山林の所有者の証言によれば、昭和21年あるいは22年の3月～4月頃に、三ヶ日町大崎半島に漂着した毒ガス入りと思われる黄色い帯が巻かれていたドラム缶を消防団約10人で運び、三ヶ日町大崎の山林に深さ3.6mの穴を掘って埋設したと記載されている〔7〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県が行った水質調査によると、周辺3つの井戸では、ヒ素は、環境基準値（0.01mg/l）以下であった。三ヶ日町大崎半島の山林は利用されていない〔18〕。
環境調査の結果	<p>地下水・大気（表層ガス）・土壌調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度に、ドラム缶の埋設情報に係る場所の周辺において3地点の地下水調査を実施した結果、毒ガス成分は検出されなかった〔A1〕。 ・平成17年度に、ドラム缶の埋設情報に係る場所において1地点の大気調査及び3地点（1検体）の土壌調査を実施した結果、毒ガス成分は検出されなかった（資料3-1の「別表B/C事案及び新規事案に係る環境調査の結果一覧表」参照）。 <p>物理探査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度に、ドラム缶の埋設情報に係る場所において表層から地中レーダー探査・磁気探査・電磁探査等を実施したところ、証言情報に合致する検知点は確認されなかった（資料3-1参照）。